

第 2 回 調布駅前ひろば検討会



参考資料

令和元年 10 月 23 日（水）

調布市グリーンホール 小ホール

調布駅前広場オープンハウス
駅前広場整備に関する市民意見把握 集計結果
(概要版)

【目次】

1. 実施要領	1
2. 調査結果	9
回答者の属性	9
3. 調査結果の総括	13

1. 実施要領

調布駅前広場で、調布駅前広場計画のこれまでの経緯や検討内容等の情報提供を目的に、経緯や計画・検討内容の説明資料を用いて、オープンハウスを開催した。また併せて、計画や検討内容に対する市民の意見を、ヒアリング形式で把握した。

オープンハウスは、7月30日（火）から8月3日（土）間に計4日間の日程で実施した。オープンハウスの総来場者数は442人、ヒアリングによる意見把握者数は274人（総来場者数の62%）であった。

オープンハウス及びヒアリングの実施概要を表1、説明資料を図1、ヒアリング記録シートを図2に示す。

表 1 オープンハウス及びヒアリングの実施概要

■ 調査日・時間と来場者・意見把握者数の状況				
調査日	時間帯	来場者数	意見把握者数 (回答者数)	回答率
7月30日（火）	10時～13時	83	52	63%
7月31日（水）	13時～16時	119	69	58%
8月1日（木）	17時～20時	125	67	54%
8月3日（土）	12時～15時	115	86	75%
4日間合計		442	274	62%
■ 当日の流れ				
①調布駅前広場計画のこれまでの経緯や検討内容等をパネル資料により説明				
②計画や検討内容に対する意見を、ヒアリング記録シートに沿って記録（※）				
【ヒアリング記録シートの内容】 - 駅前広場の4つの機能から想定される施設整備について ー交流機能、景観形成機能、情報提供機能、防災機能の4つの機能の観点からヒアリング - 公共交通機関利用時の利便性について - 駅前広場整備や中心市街地の整備について - 回答者の属性（年齢、性別、居住地 等）				

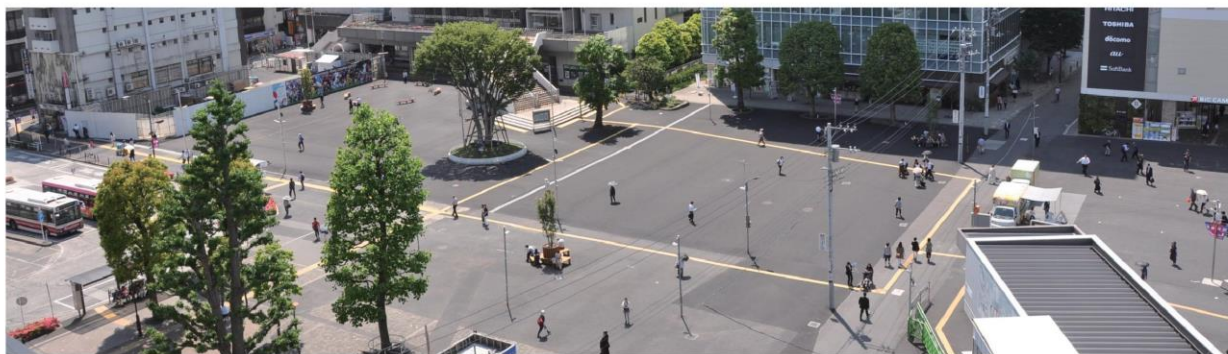
※意見については、説明者がヒアリングした内容を記入したほか、希望者には、記録シートに直接意見を記入いただく方法をとった。

記録シートに直接記入した人は、113人（意見把握者数274人の約41%）である。

1

ご自由にご覧ください

調布駅前広場オープンハウス



調布駅前広場の整備に関して
ご意見をお聴かせください

調布市 都市整備部 街づくり事業課

2

調布駅前広場オープンハウス

日ごろより、調布市政にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

調布駅前広場の整備については、平成9年度から市民参加を重ね、平成12年3月に中心市街地街づくり総合計画を策定し、平成14年2月に京王線の連続立体交差化の都市計画と合わせて、駅前広場の都市計画を変更しました。

その後、アンケート調査や意見交換会、報告会などを経て、平成25年7月に検討図を公表しました。

今年度は、調布駅前広場検討図について、再確認・再検討を行うため、「調布駅前広場オープンハウス」を実施し、市民の皆さんへ調布駅前広場計画の今までの経緯や、検討内容等について、情報提供や意見交換を行っております。



図 1 説明資料一覧（その①）

これまでの調布駅前広場の検討経緯

年度	駅前広場に関する事項	周辺環境の変化
平成9年度	中心市街地街づくり総合計画に向けた検討 (アンケート調査実施、意見交換会等6回開催)	(106,859人/日)
平成10年度	都市計画マスタープラン(H10.6) 中心市街地街づくり総合計画に向けた検討 (アンケート調査実施、意見交換会等6回開催)	(106,825人/日)
平成11年度	中心市街地街づくり総合計画策定(H12.3)	(106,189人/日)
平成13年度	平成13年度第2回調布市都市計画審議会で審議(H13.1.1) 第151回東京都市計画審議会で審議(H13.1.2) 調布駅前広場都市計画変更決定(H14.2)	(106,259人/日)
平成14年度 平成15年度	駅前広場研究会 (調査・研究 市民参加)	H15.3 連続立体 交差事業認可取得 (108,041人/日)
平成16年度	調布駅前広場整備構想案(一次)公表(H16.5)	H16.9 連続立体 交差事業着工 (108,438人/日)
平成17年度	調布駅前広場整備構想案(二次)公表(H17.7)	
平成20年度	中心市街地デザイン・コンセプト案公表(H20.10) (説明会3回開催、アンケート調査1回実施、パブコメ実施) 中心市街地デザイン・コンセプト案公表(H21.2) (説明会4回開催、アンケート調査2回実施、パブコメ実施)	(116,432人/日)
平成21年度	中心市街地デザイン・コンセプト策定(H21.7) (アンケート調査実施) 調布駅前広場検討報告会(H22.3) (2回開催)	(115,654人/日)
平成23年度	調布駅・布田駅・国領駅前広場等検討報告会(H23.6~7) (4回開催、アンケート調査実施) 中心市街地活性化プラン策定(H24.3)	(113,423人/日)
平成24年度	調布駅前広場事業手法の決定(H24.8)	H24.8 京王線地下化 (113,385人/日)
平成25年度	調布駅前広場検討図公表(H25.7) 中心市街地まちづくり市民説明会(H25.10) 調布駅前広場に係る監視庁との設計協議完了(H25.11)	(115,061人/日)
平成26年度	都市計画マスタープラン(改定)(H26.9) 都市計画事業認可取得(H26.10) 調布駅前広場事業説明会(用地取得開始)(H26.11)	H27.3 連続立体 交差事業完了 (115,238人/日)
平成28年度	自転車駐車場及び調布駅前広場の事業進捗に関する説明会 (H28.6) 調布駅前広場整備工事着手(H28.11)	
平成29年度	調布駅前広場整備に係る市民会議(H29.4~5) 調布駅前広場に関する説明会(H29.7、H30.1)	H29.9 トリエ京王調布 A・B・C館開業 (125,624人/日)
平成30年度	調布駅前広場の道路区域編入(H30.9) 調布駅前広場の整備に関する説明会(H31.1)	(129,968人/日)

調布駅前広場の4つの機能のイメージ

① 憩い・集い・語らうための「交流機能」

いこい空間

- 緑を確保し、うるおいやすらぎが感じられる落ち着いた憩いの空間。
- ベンチなどを設置し、駅前での待ち合わせや語らいの場の創出。
- 大屋根を設置し、暑い日や雨の日でも快適に利用できる駅前広場。



図1 長ベンチ



図2 木陰のベンチ

にぎわい空間

- 様々なイベントに活用できる、イベント広場の創出。
- 大屋根を設置し、雨天などでもイベントが可能なイベント広場。
- 夜間でも安心して利用できる広場空間とし、昼夜間におけるにぎわいの拠点を演出。



図3 イベント広場



図4 大屋根空間でのイベント

歩行者動線の確保と回遊性の向上

- 調布駅前広場を中心に、東西と南北の市街地を連絡する歩行者空間ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性を向上させる。
- 駅前広場を中心に商業・業務・文化・コミュニティ施設間を安全かつ快適に結ぶため、歩行者回遊軸の拠点として来訪者の交流・にぎわいの場を提供。
- イベント利用者と通行の歩行者動線が干渉しないよう、安全性や快適性に配慮。また、イベント利用以外において、歩行者動線を確保。



図5 イベント広場(夜間の利用)

図1 説明資料一覧(その②)

調布駅前広場の4つの機能のイメージ

② 緑やモニュメントなど市の顔としての「景観形成機能」

景観や日陰など考慮した樹木の配置

- 武蔵野の自然景観をイメージし、調布市らしい多様な緑が感じられる空間の演出。
- シンボル性のある樹木を配置し、まちの玄関口としての拠点性を高める。
- 記念樹の保存を行い、まちの歴史や人のつながりが感じられる空間。
- 樹木を動線やたまり空間などに配置し、緑陰による快適な空間の創出。



図6 樹木を配置した駅前広場

モニュメント・ストリートファニチャーなど

- 調布市の顔となるモニュメント、ストリートファニチャー（ベンチ）などを設置。
- 市民や来訪者に親しまれる空間。
- 大屋根は人々が集まるシンボリックな場所を形成。



図7 モニュメント・ストリートファニチャー



噴水や芝生

- 噴水を設置することで、調布駅前の原風景を継承。
- 芝生を設置することで、座ったり寝ころんだり、子どもが安全に遊べる空間の創出。
- 緑のある風景の創出。



図8 芝生のある広場



図9 噴水（ドライ噴水方式）

調布駅前広場の4つの機能のイメージ

③ 公共サービスなどの情報を提供する「情報提供機能」

各種情報の発信機能

- 公共施設などを活用し、各種情報（市政情報、観光案内、バス発着情報など）を発信し、まちの玄関口としての拠点性を高める。
- 市の取り組みやトピックスなど市政情報を発信。
- 市の魅力的な観光地の情報を発信するための観光案内。
- 路線バスやリムジンバスなどの利用者のために、バス発着情報を発信。
- 災害時に防災情報を発信。



図10 デジタルサイネージ

④ 防災活動の拠点となる「防災機能」

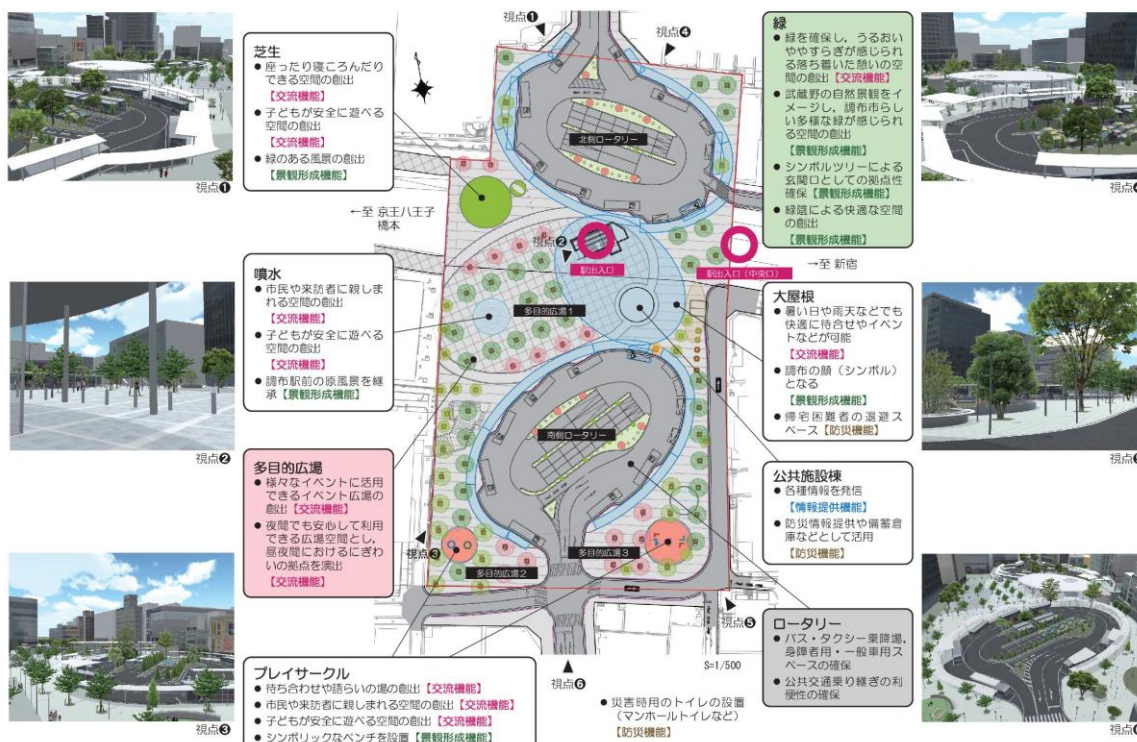
帰宅困難者対応や防災拠点としての防災機能

- 災害時などの非常時には、駅前広場にて帰宅困難者対応を実施。
- 公共施設などを活用し、帰宅困難者への防災情報を提供。
- 公共施設は、帰宅困難者対応のために備蓄倉庫機能を確認。
- 災害時用のトイレの設置（マンホールトイレなど）。
- 大屋根を帰宅困難者の退避スペースとして活用。



図11 広場を避難場所として活用

調布駅前広場検討図における4つの機能のイメージ



調布駅前広場 ロータリー検討経緯

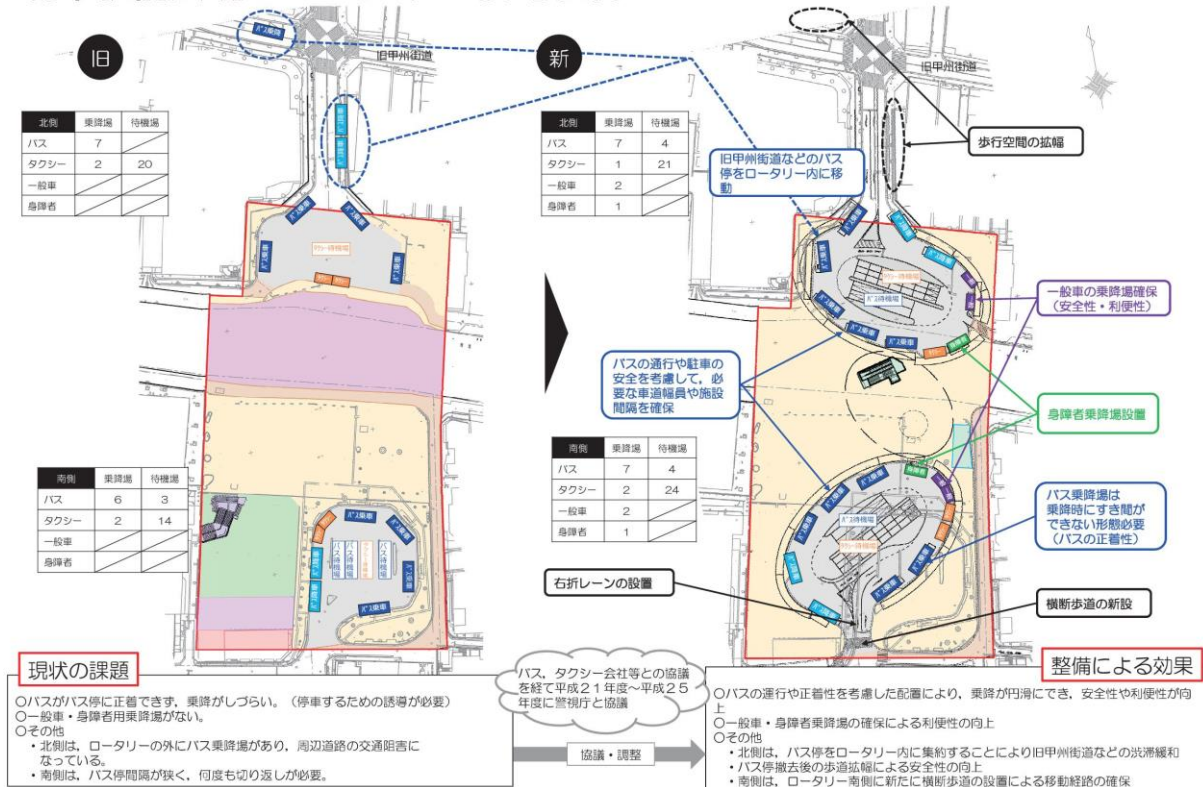
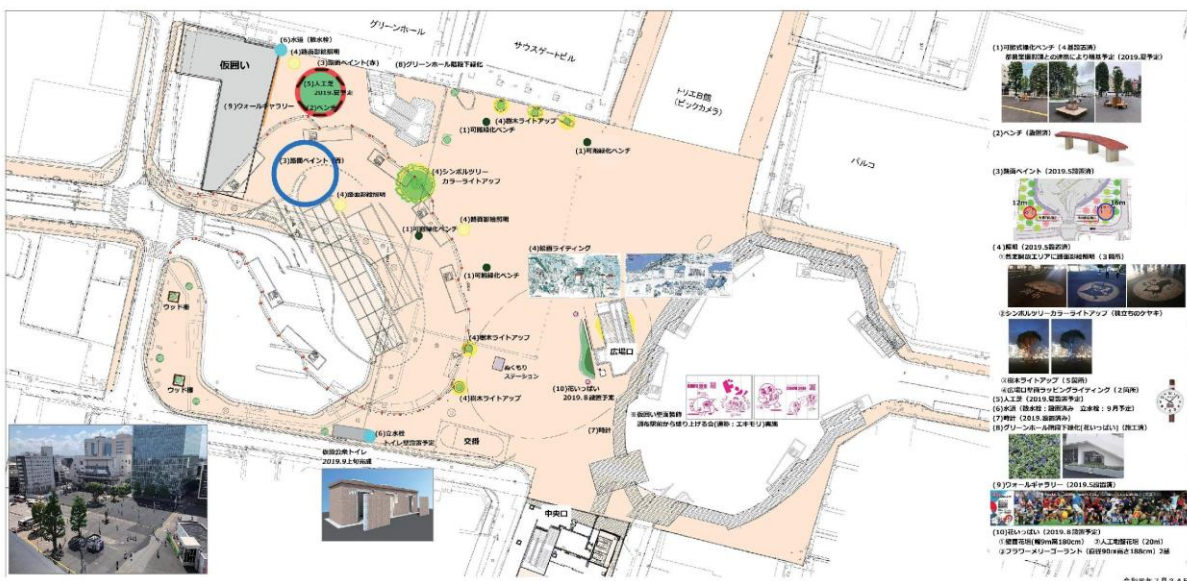
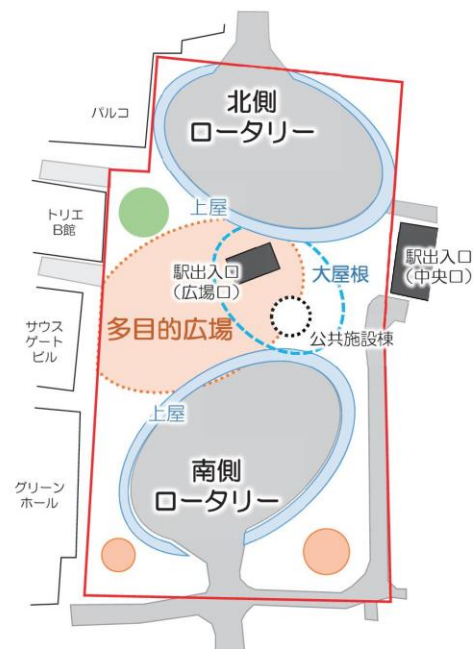


図 1 説明資料一覧（その④）

暫定開放の取組について



今後の整備スケジュール



■ 北側ロータリー周辺について

- ・ 平成28年度～令和元年度 ロータリー整備工事
- ・ 平成30年度～令和元年度 上屋整備工事
- ・ 令和3年度 ロータリー内の整備工事
- ・ 令和4年度 歩行空間（環境空間）の整備工事

■ 南側ロータリー周辺について

- ・ 令和2年度 ロータリー・上屋の詳細設計
- ・ 令和3年度～令和5年度 ロータリー・上屋の整備工事
- ・ 令和6年度 ロータリー中央部の整備工事
- ・ 令和6年度～令和7年度 公共施設棟・大屋根の整備工事
- 歩行空間（環境空間）の整備工事

平成31年1月現在

※今後諸調整により変更する可能性があります。

図 1 説明資料一覧（その⑤）

日にち		時間帯		記録者	
-----	--	-----	--	-----	--

調布駅前広場整備に関する市民意見把握【ご意見記録シート】

1. 駅前広場の4つの機能から想定される施設整備について

本日説明しました駅前広場の整備内容について、「〇〇〇が欲しい」、「△△△を大切にしたい」、「□□□についてもっと考えて欲しい」など、整備内容に対する要望や関心がある内容をお聞かせください。

①憩い・集い・語らうための「交流機能」について

【想定される機能】

- ・ いこいの空間
- ・ にぎわい空間
- ・ 歩行者動線の確保と回遊性の向上

②緑やモニュメントなど市の顔としての「景観形成機能」

【想定される機能】

- ・ 景観や日陰等を考慮した樹木の配置
- ・ モニュメント・ストリートファニチャーなど
- ・ 噴水や芝生

③公共サービスなどの情報を提供する「情報提供機能」について

調査シート：1

図 2 ヒアリング記録シート（表面）

④防災活動の拠点となる「防災機能」について

2. 公共交通機関利用時の利便性について

調布駅前広場の、タクシーやバスなどの各種交通機関利用時の利便性について、今後期待することや、不安なことがありましたらお聞かせください。

3. 駅前広場整備や中心市街地の整備について

調布駅前広場の整備や中心市街地活性化に向けた整備について、今後期待することや、不安なことがありましたらお聞かせください。

あなたご自身について、可能な範囲でお聞かせください。

年齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上	性別	①男性 ②女性 ③その他
居住地	①調布市内 →町名 () ②調布市外 → (市・区・町・村)		
調布駅・駅前広場への来訪頻度	①毎日 ②週に数回 ③月に数回 ④年に数回 ⑤その他 ()		
来訪する際の主な交通手段	①バス・送迎バス ②電車・タクシー ③徒歩 ④自転車 ⑤バイク ⑥車 (自分で運転) ⑦車 (送迎) ⑧その他 ()		
来訪する際の主な来訪目的	①通勤・通学 ②医療機関への通院 ③駅周辺での買い物・観光・レジャー等 ④市外への買い物・観光・レジャー等への移動のため ⑤家族等の送迎 ⑥その他 ()		

調査シート：2

図 2 ヒアリング記録シート (裏面)

2. 調査結果

回答者の属性

ア 年齢

回答者の年齢を表 2，図 3に整理する。

回答者は，50代が36人（13%），60代が39人（14%），70代が44人（16%），80代以上が13人（5%）である。50代以上の割合が約5割（48%）であり，比較的高齢の方の意見が多いと言える。

表 2 年齢

選択肢	回答数	割合
10代	3	1%
20代	20	7%
30代	28	10%
40代	32	12%
50代	36	13%
60代	39	14%
70代	44	16%
80代以上	13	5%
無回答	59	22%
合計	274	100%

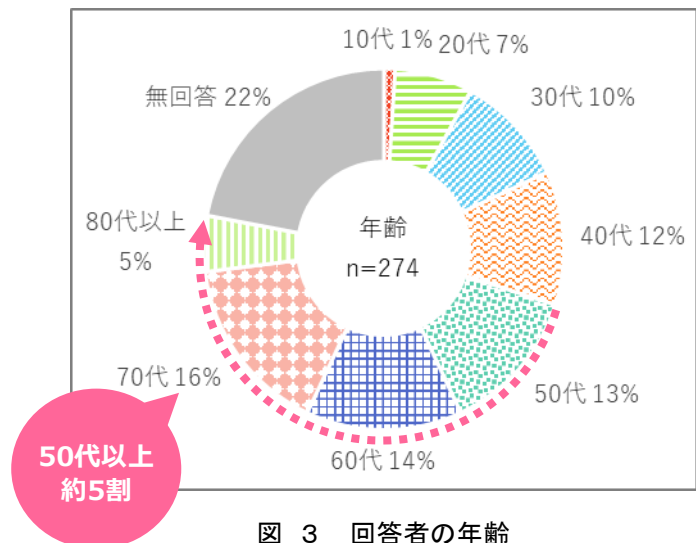


図 3 回答者の年齢

イ 性別

回答者の性別を表 3，図 4に整理する。

回答者は，男性が82人（30%），女性が94人（34%），その他が10人（4%）である。その他はすべて夫婦や家族連れである。

表 3 回答者の性別

選択肢	回答数	割合
男性	82	30%
女性	94	34%
その他	10	4%
無回答	88	32%
合計	274	100%

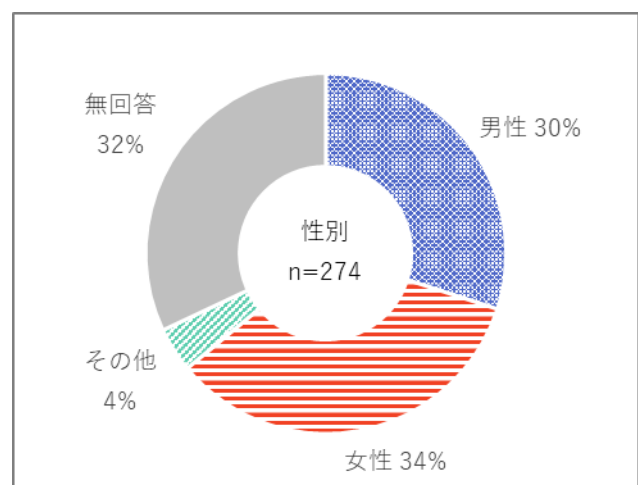


図 4 回答者の性別

ウ 居住地

回答者の居住地を表 4、図 5に整理する。

回答者は、調布市内が144人（53%）、調布市外が21人（8%）である。また、調布市内の居住地域の内訳の上位3地区は、小島町（22人）、布田（17人）、多摩川（11人）である。

表 4 回答者の居住地

選択肢	回答数	割合
調布市内	144	53%
調布市外	21	8%
無回答	109	39%
合計	274	100%

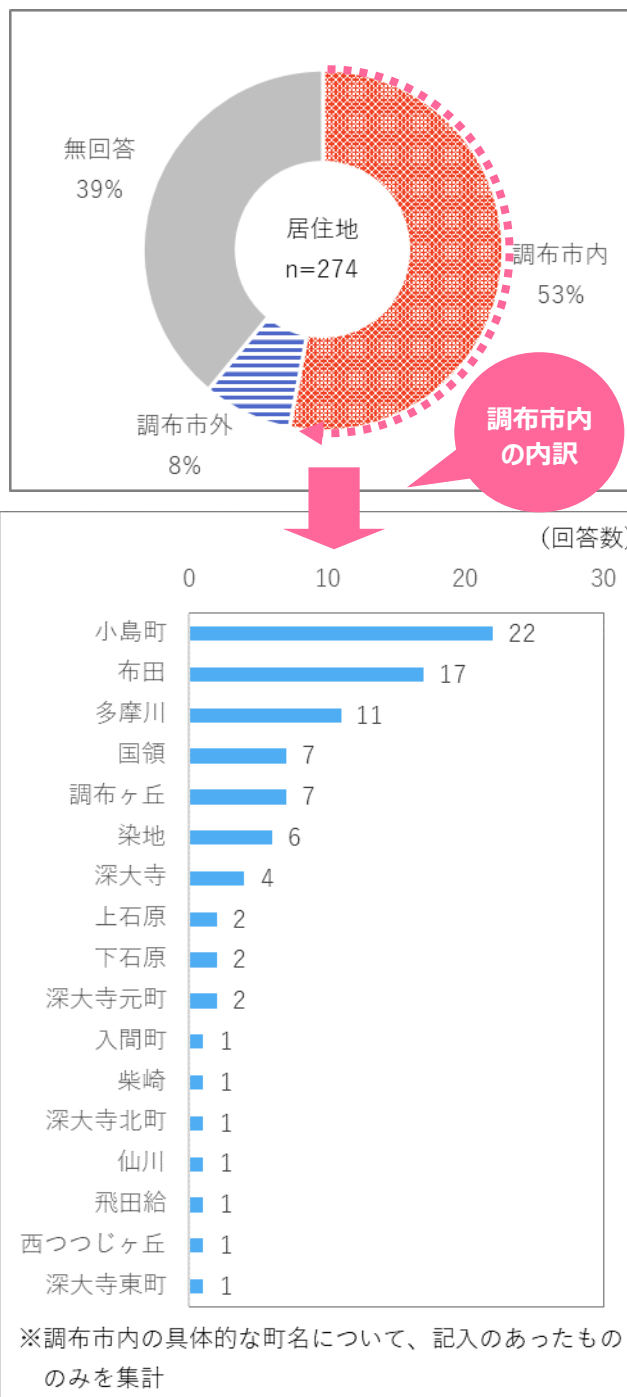


図 5 回答者の居住地

エ 来訪頻度

回答者の調布駅・駅前広場への来訪頻度を表 5、図 6 に整理する。

回答者の調布駅・駅前広場への来訪頻度は、毎日が 104 人（37%）、週に数回が 41 人（15%）である。週数回以上の比較的高頻度で来訪している人が 5 割以上（52%）である。

表 5 回答者の来訪頻度

選択肢	回答数	割合
毎日	104	37%
週に数回	41	15%
月に数回	7	3%
年に数回	2	1%
その他	2	1%
無回答	118	43%
合計	274	100%

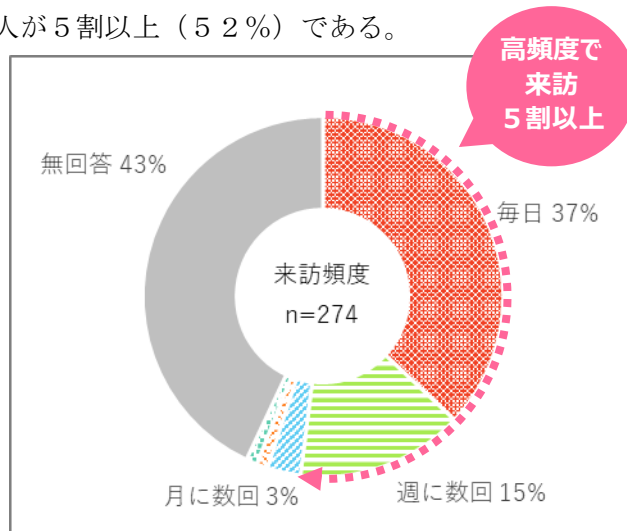


図 6 回答者の来訪頻度

オ 来訪する際の主な交通手段

回答者の来訪する際の主な交通手段を表 6、図 7 に整理する。

回答者の来訪する際の主な交通手段として、徒歩が 88 件（28%）と最も多い。次いで、電車・タクシーが 37 件（12%）、自転車 that 32 件（10%）、バス・送迎バスが 32 件（10%）と続く。

表 6 来訪する際の主な交通手段（複数回答）

選択肢	回答数	割合
徒歩	88	28%
電車・タクシー	37	12%
自転車	32	10%
バス・送迎バス	32	10%
車（自分で運転）	5	2%
車（送迎）	3	1%
バイク	0	0%
その他	1	0%
無回答	120	37%
合計	318	100%

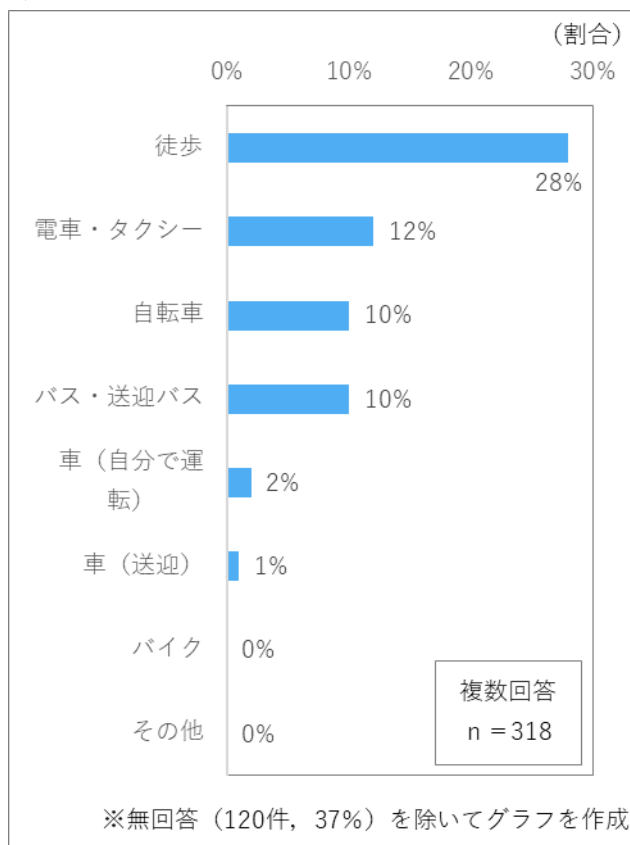


図 7 来訪する際の主な交通手段（複数回答）

カ 来訪する際の主な目的

回答者の来訪する際の主な目的を表 7、図 8に整理する。

回答者の来訪する際の主な目的として、駅周辺での買い物・観光・レジャー等が75件（24％）と最も多く、次いで通勤・通学が59件（19％）となっている。

表 7 来訪する際の主な目的（複数回答）

選択肢	回答数	割合
駅周辺での買い物・ 観光・レジャー等	75	24%
通勤・通学	59	19%
市外への買い物・観光・ レジャー等の移動のため	16	5%
医療機関への通院	7	2%
家族の送迎	3	1%
その他	18	6%
無回答	138	43%
合計	316	100%

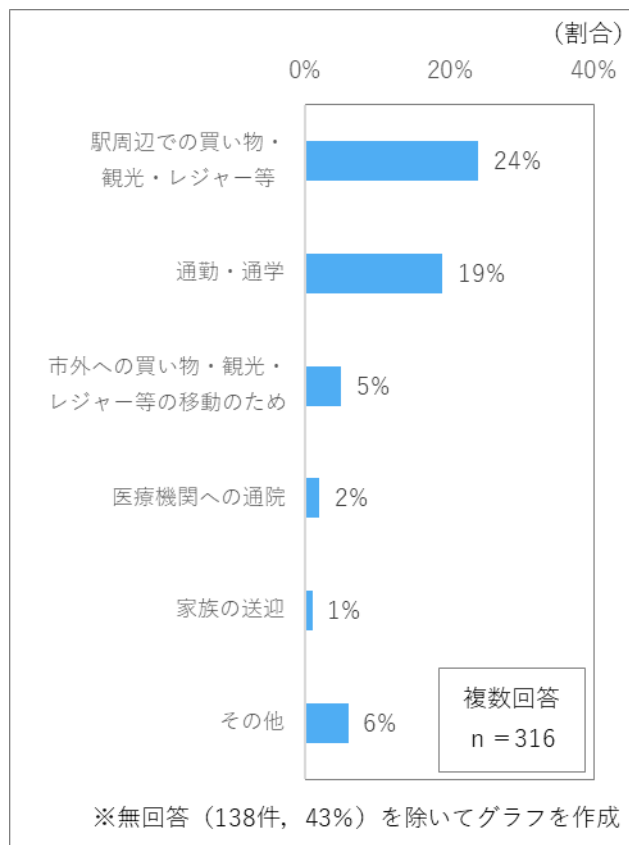


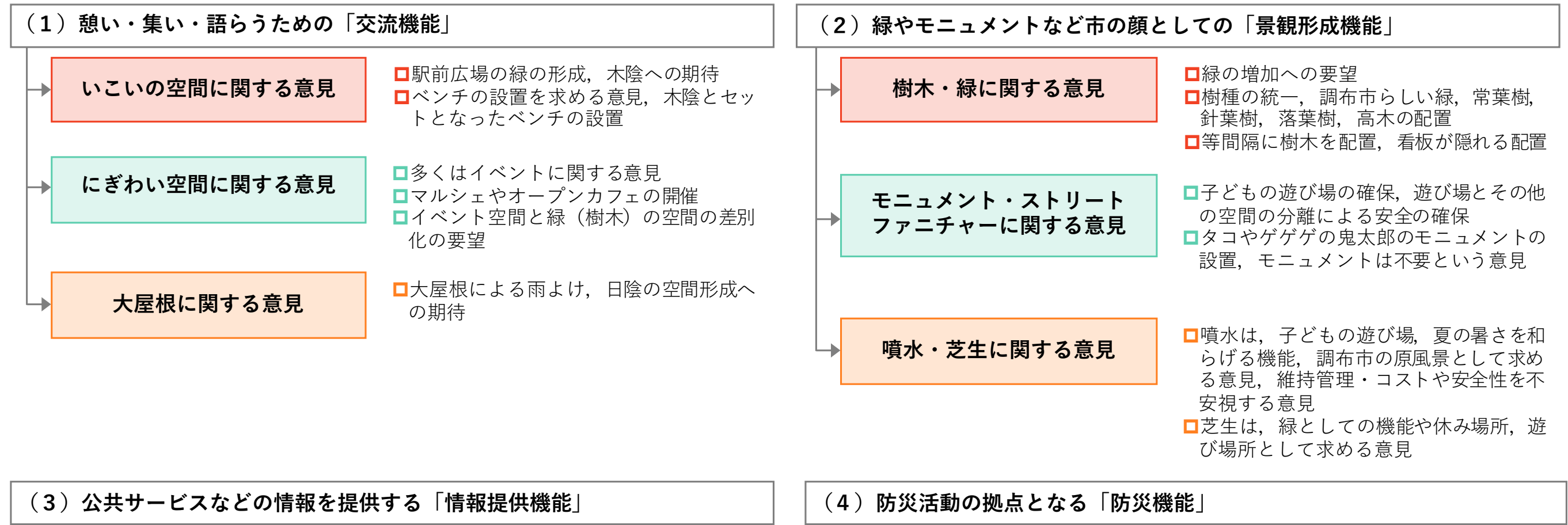
図 8 来訪する際の主な目的（複数回答）

調布駅前広場オープンハウス 調査結果の総括

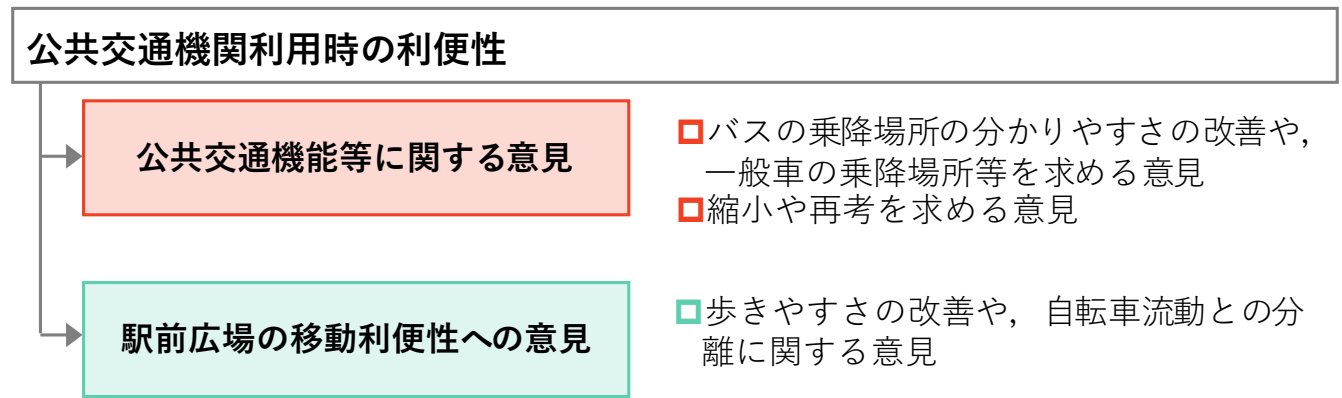
□ 7月30日（火）～8月3日（土）間に計4日間の日程で実施
□ 総来場者数442人、意見把握者数（回答者数）274人

駅前広場の4つの機能については、現在の計画内容を概ね肯定し、それぞれの機能を求める意見が多い。個々のしつらえについては、今後考慮することが求められる。公共交通機関利用時の利便性では、駅前広場の歩きやすさや自動車流動との分離など、移動利便性の改善を求める意見もあった。

1. 駅前広場の4つの機能について

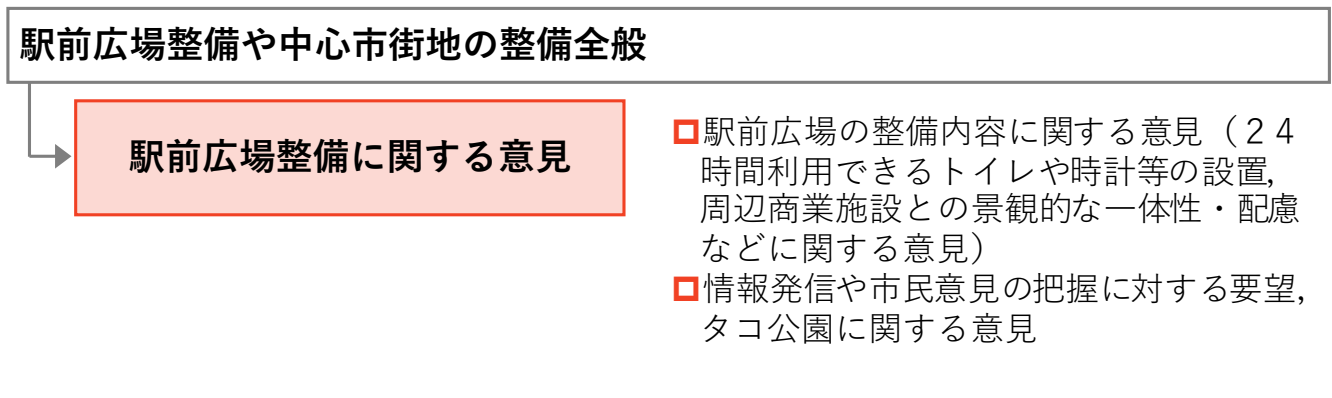


2. 公共交通機関利用時の利便性について



※この他に、乗り場の情報発信やわかりやすさの改善を求める意見や、乗り場の屋根を求める意見、駐輪場を求める意見もある

3. 駅前広場整備や中心市街地の整備全般について



※中心市街地に関する内容（歩道やWi-Fi環境の整備、ラグビーW杯の認知度、てつみち等）に関する意見もある